

ベトナムの事業基盤をベースとしたサービスを展開。欧州での物流ネットワークを強化する。

日系物流企業によるルーマニアへの法人進出は今回が初となる。同社では、これまでルーマニアの展開をポーランド法人やハンガリー法人による

陸上輸送や代理店を利用した海上・航空輸送など一部の取り扱いにとどめていたが、同国の欧州市場での成長性を見込み、今回進出を決めた。

国土交通省と外務省は16日、東京都内で国際物流セミナーを開催した。

カンボジア物流セミナー

省省 外交 国外

行政官や物流事業者ら約130人が参加した。カンボジアのス・チャン

トール公共事業運輸相兼上級相が同国での物流情勢について講演した。ほ

か、国交省や国際協力機構(JICA)の代表らが日本での取り組みなどを解説した。

カンボジアは、年率平均7%の経済成長を続けており、日本を含む各国からの投資が活発化している。一方でカンボジア

古くは戦国時代にポルトガル船が入港、幕末期には函館、横浜と共に通

CCブ 17年度総会を開催

費用がなくなるため、その分、教育活動などを拡充する。

今年度はシステム開発費用がなくなるため、その分、教育活動などを拡充する。

今年度はシステム開発費用がなくなるため、その分、教育活動などを拡充する。

今年度はシステム開発費用がなくなるため、その分、教育活動などを拡充する。

今年度はシステム開発費用がなくなるため、その分、教育活動などを拡充する。

今年度はシステム開発費用がなくなるため、その分、教育活動などを拡充する。

中小NVOCC(海上利用運送)事業者を支援するNPO法人、外航利用運送事業者倶楽部(NVOCCクラブ、鵜澤敏一理事長)は20日、東京都内で2017年度総会を開催した。会員企業から委任状を含め38社が出席し、会員向けサービスを拡充した16年度(16年9月-17年8月)の事業報告と17年度の事業計画、予算などを決めた。



あいさつする鵜澤理事長

NVOCCクラブは15年9月に発足。研修セミナーの開催をはじめ、国際輸送に関する知識の普及・教育活動などを行っている。加えて会員は、国土交通省から認可を受けているBL(船荷証券)を安価に利用可能。

海外代理店紹介も NVOCCクラブは会員向けのサービスを拡充している。今年に入って海外代理店紹介サービスを開始。9月には会員企業が荷主やその代理の保険会社から賠償請求を受けた際、対応をサポートする「NVOCCクラブ・ライアビリティ・プログラム(貨物運送人賠償プログラム)」を始めた。

総会後にはこれらの新サービスが紹介された。NVOCCクラブが紹介する海外代理店として、香港を本拠とするフォワード、スキャンウエルロジスティクス、日本の法人が同社のネットワークやサービスの概要を説明した。海外代理店が必要な会員はクラブから紹介を受け、同社と直接取引する形になる。

ライアビリティ・プログラムには、フォワード総合保険が含まれる。外航貨物海上保険専門の保険代理店、インタリンクが保険を活用し、合理的に賠償体制を構築する支援を行う。

年間加入料はNVOCCクラブの年会費とは別に、加入初年度または前年度事故ありの場合は1TEU当たり3000円、前年度事故なしの場合は1TEU当たり2000円などとなっている。ミニマム・チャージ(最低料金)は3万6000円。

内輸出入貨物は県内港からの方針のもと二層の活用を検討してほしい」と出席者に呼び掛け

	実入り	空	計
輸出	1,224 (0.5)	2,845 (▲10.8)	4,069 (▲7.7)
輸入	3,518 (▲24.8)	170 (▲28.0)	3,688 (▲25.0)
計	4,742 (▲19.6)	3,015 (▲12.0)	7,757 (▲16.8)

	実入り	空	計
移出	0 (-)	4 (▲55.6)	4 (▲55.6)
移入	4 (▲83.3)	0 (-)	4 (▲83.3)
計	4 (▲83.3)	4 (▲55.6)	8 (▲75.8)

単位: TEU、カッコ内は対前年増減比(%)、▲はマイナス

紹介

開催した。荷主・物流企業など200人以上が参加。アクセスに優れた県内農林水産物の輸出促進と

を目標しセールスを展開していくなど述べた。荷主向けではITEU当たり6000円の補助制

免など、各種インセンティブ制度も紹介した。

また今後の取り組みとして千葉中央埠頭のコン

いる。安定的なサービス展開が顧客の支持を得ており、千葉港でも1999年に年1万TEU、2

学院 ム創 隆崎 ける 題し



講演するチャントール公共事業運輸相

ソフト面では、輸送や輸出入に

の活 ジア の活